

誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ①

よかったら “想い”を 聴かせて

～自分も相手も大切にするために～

グラデーション
私も一つの色でした



解説書・ワークシートあり

字幕・副音声版付き

DVD本体価格 70,000円 (税込77,000円)



東映株式会社 教育映像部

上映時間29分

[C#3259]

予告編はコチラ



社内ネットワークによるeラーニングなどでお使いいただけるデータ販売も行っております

企画内容

この教材では、『ハラスメント』をはじめとした職場における6つの人権テーマを切り口に、相手の想いを聴くこと・自分の想いを伝えること・お互いを受け止め合うことの大切さを登場人物たちと共に考えていきます。職場の誰ひとり取り残さないために、自分も相手も大切にするためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？ドラマを通して学んでいく映像教材です。

あらすじ

吉沢七海は会社の川柳同好会に所属している。同好会のメンバーは社内の所属も年齢もバラバラだが、安心して何でも話せる人ばかりだ。ある日の同好会。人権週間が近いことから川柳のお題に『人権』をテーマとして選ぶことになった。同好会の面々は、雑談しているうちに何か川柳のヒントになるかもと、職場の人間関係で印象に残っているエピソードをお互いに話し合うことになった。



ハラスメント

販売促進部に勤める吉沢のもとに、業務時間外に上司から「役立ちそうな資料を送っておきます」のメッセージと資料が送られてくる――



いろいろな性

新商品の企画でジェンダーレスのデザイン服が案に上がり、立案した商品開発部の糸田が自身の『性のあり方』を打ち明ける――



外国人

営業部のライアンが、音で聞くと理解が難しい日本語でのやり取りや、職場ならではのルールに困惑している――



障害者

IT事業部の市川は障害者雇用の取材中、インタビュアーが取材対象者ではなく手話通訳者に体を向けて話していることに気づく――



働き方

柏木課長は子育てで職場に迷惑をかけたくないと出社を続ける。一方で部長の島崎は、親の介護のために遠隔地からテレワークを続ける――



部落差別

人事部の木村が川柳同好会のメンバーに『部落差別』を知っているかどうかを尋ねる。さまざまな反応が返ってくる――



- 本DVDは、ご購入いただいた官公庁（都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等）や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。
- 本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
 - ・テレビでの放映 ・ビデオオンデマンド等による配信
- 著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。
- DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

お問い合わせは…

プロデューサー：福島宏樹 企画・営業：市村浩之 企画協力：竹内 良
脚本：松島恵利子 撮影：阪本 勇 照明：木下篤弘 録音：八木重憲
助監督：岡田祐太 監督：越坂康史 制作協力：オープンアイズ合同会社
企画・製作／ 東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部
発売元：営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631